

西ネパール地域の登山と山旅、人々の暮らし

～同志社大学山岳部

極西ネパール登山隊2015年、2017年の記録から～



自己紹介



宇野悠真(うのゆうま)

同志社大学山岳部 前主将

経済学部5回生。中学より登山を始める。大学に入学するとともに山岳部に入部し冬山・クライミング・沢登りなどを行う。海外志向が強く、2回生のころより、毎年海外への登山を欠かさない。冬山からクライミングまで幅広い登山を行っている。

(登山歴)

夏 北ア・南ア縦走、滝谷ドーム中央稜登攀、御在所、
冬 劔岳小窓尾根、利尻岳(敗退)、八ヶ岳中山尾根など
海外 Aichyn峰初登頂(2015)
ヨセミテ溪谷にてクライミング(2016)

須見遼介(すみりょうすけ)

同志社大学山岳部 現主将

商学部3年生、登山は3年目。同学年が次々と山岳部を辞めていくが何とか耐えることができた。冬山と沢登りを好む。

(登山歴)

夏 北ア全山縦走(上高地～親不知)、西表島沢登り
冬 蓮華岳東尾根、吉凶岳～夕張岳、八ヶ岳南沢大滝、三叉峰ルンゼ、石尊稜、赤岳主稜 など
海外 エベレスト街道トレッキング



目次

講演日：2018年9月29日

2つの海外遠征の概要

きっかけ(2015年の遠征)～結果報告を簡単に

2017年海外遠征の内容

ネパールでの3カ月間

現地の人々の暮らし

2017年海外遠征を通して

海外遠征を振り返って

遠征を通じて得たものと、これから

2015年海外遠征

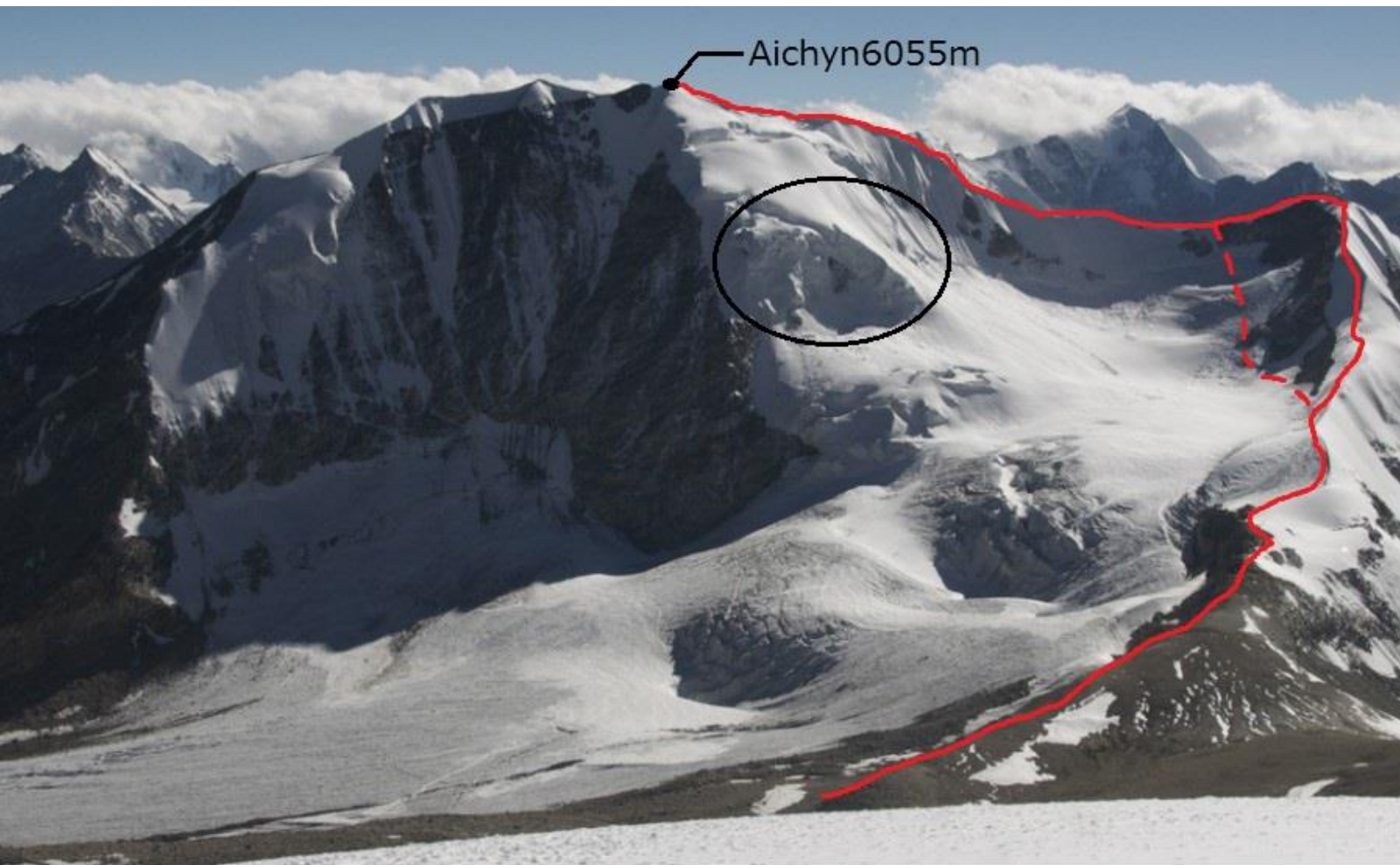


時期	2015年8月3日～10月12日 合計70日
メンバー	同志社大学山岳部員 5名
概要	西ネパールの未踏峰への登頂計画
Aichyn峰について	西ネパールの未踏峰6055m 104座解禁峰の一つ
出発まで(簡単に)	
国内での準備など	2014年10月開始
訓練など	高所訓練 富士山 氷河通過、技術アップ 劔岳、八ヶ岳など



Aichyn峰





Aichyn6055m



2017年海外遠征



海外登山の概要

所属：同志社大学山岳部

隊員：4名（現役部員2名、OB2名）／宇野・須見・仙田・斉藤

期間：(ポスト)モンスーン期(8月～10月)

場所：ネパール極西部

目的：登山許可取得及びラマ峰の初登頂

結果：ラマ峰の偵察、Schwarze Wand Spitze峰の初登攀など

ラマ峰

25日間

キャラバン8日間

バス33時間

首都カトマンズ

エベレスト



きっかけ

ラマ峰の存在を知る(2014年)



サイパルの頂上から見えた
山が登られていないと思う
から探ってほしい。
(平林克敏OB)

著書「サイパル登山」に登場するラマ峰
著者：平林克敏OB

ラマ峰へ向けた準備を開始(出発の10ヶ月前 2016年10月)

- ・調べていくと・・・写真が殆どない。適期・ルート不明、**解禁されていない**
- ・解禁に向けてネパール政府に申請文書提出、交渉開始
- ・資金、装備、食料などの準備（**準備期間が残りわずかなので急ぐ**）
- ・ネパール極西域へ現地偵察へ行く（出発の4ヶ月前／1ヶ月間半）

ラマ峰へ向けた練習も開始

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1 体力づくり・・・積雪期登山を欠かさず行う | 例) 黒部横断、劔岳周辺 |
| 2 未踏峰対策・・・情報がない山へ | 例) 三方崩山、僧ヶ岳 |
| 3 突破力向上・・・冬季登攀、アイス | 例) 錫杖岳、大山、大普賢岳 |
| 4 ヒマラヤ対策・・・高所登山、氷河など技術面 | 例) 劔岳の雪溪、富士山 |

なんとか無事に出発できた



ネパール政府との交渉



メールでのやりとりも

色々なことが判明

- ・ 以前提出した申請文書は保留されている
- ・ 未許可で登ると刑務所行き
- ・ 次の解禁峰リストには入れてもらう
- ・ 我々の英語力が低い

これからの動き

- ・ 許可が降りるのを待ちつつ登山へ出発







いざ、新たな可能性のルートへ

本当に辿り着くのか心配

↓まずこの山を越えることに



ちょっとした藪こぎ



遠くに峠が見え始めた

偵察へと切り替える

快適なベースキャンプ到着～登頂準備OK



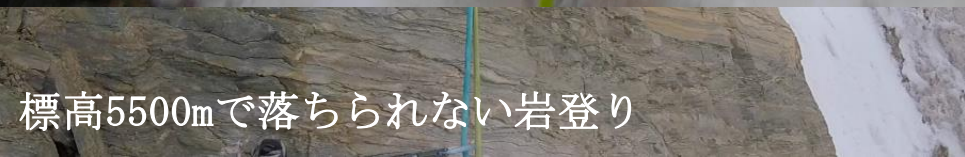
しかし肝心の許可が取れていない。。。。

最大限の偵察活動へ切り替え

- ・ルール上では5800mまで行くことができる。
(エベレスト等すでにBCの概念がある場合はBCまで)
- ・期間は残り約20日ある。

・岩登りが登場

巨大セラック



標高5500mで落ちられない岩登り



詰め上がる



キャンプ4



天気悪いし、狭いキャンプ4

↑ 狭すぎるテントに4人。ものが入りきっていない。



キャンプ3



豪雪で消えたテントを発掘

↑ 出発時

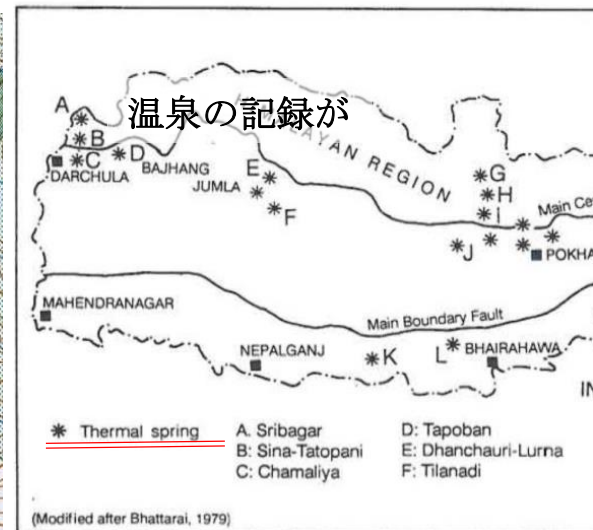
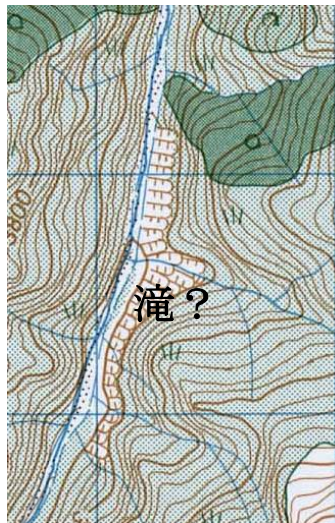
↑ 帰還時

ヒマラヤで出来ることを模索

許可が取れないから断念では納得がいかない。

幾つかの案

- 1 付近の岩山をクライミングして登る
- 2 近くの雪山の壁を登る
- 3 ゴルジュ帯まで下りて大滝を探す
- 4 温泉探しの旅に出る





現地の人々の暮らし① 冬虫夏草



この地域の働き手の多くは、シーズンの間(4～6月)、標高の高い辺境にて簡易テントに定着し、冬虫夏草の採集を行う。そして、そこで一年分の生活費を稼ぐ。



ヤサゴンバ採取者－ある少年



年齢　：14歳

採取数：7個×45日＝315個

収入　：1つ平均450RS×315個＝
14,1750Rs

(※カトマンスでの平均年収は、80,000Rs)

・この日は、7個採取。彼は1か月半ほど滞在する。

ヤサゴンバ仲買人ーあるチーム(4人)



毎年10kgを仲介

10kgで大体、ヤサゴンバ4万個

初期投資：4万個 $\times$ 450Rs = 1800万Rs
※銀行からの借り入れ

KTMでの販売額：1kg, 190万Rs $\times$ 10 =
1900万Rs

利益：1900万Rs - 1800万Rs = 100万Rs

一人頭：25万Rs

日本や中国へ



[冬虫夏草]キノコパウダーで、毎日体元気★天然原料そのまま(トウチユウカソウ)(粉末)(健康食品)(サプリメント)(サ)
冬虫夏草粉末(100g)天然ビュア原料そのまま虫夏草
商品番号 s053
価格 **4,170円** (税込) 送料別
■ お買い物の前に7,000ポイントゲット! (最短2分)
1~2営業日以内に発送予定※土日祝休
※注文個数によりお届け日が変わることがあります。

個数 **1**

[+ 商品をかごに追加](#) [🛒 ご購](#)

[🗉 商品レビューを見る \(10件\)](#)

[★ お気に入り商品](#) [★ お気に入りショップ](#)

[🔍 商品についての問合わせ](#)



● 西藏 (チベット) 冬虫夏草

● 総販売元：株式会社ノエビア

【特徴】ノエビアの西藏 (チベット) 冬虫夏草は、世界中で400種類以上ある冬虫夏草の中でも、**良質で非常に稀少なチベット産の冬虫夏草**をふんだんに配合。さらに、酵素によって抽出された、吸収性の高いエキ스가プラスされています。

商品名	西藏 (チベット) 冬虫夏草
販売価格	138,240円 (税込)
内容量	60g (2g×30包)
主な成分	乳糖、デキストリン、マルトデキストリン、チベット産冬虫夏草 (Cordyceps sinensis Berkeley Saccardo) (エキス、微粒加工粉末、酵素処理粉末)



ヤサゴンバをめぐるって

The Daily Telegraph ≡

All the news

News

Fight over 'Himalayan Viagra' - 19 villagers guilty over murder of seven farmers

<http://www.dailytelegraph.com.au/fight-over-himalayan-viagra-19-villagers-guilty-over-murder-of-seven-farmers/news-story/0ff1a2e82b3e064feac6b2cd8cf17976>



現地の人々の暮らし② 教育と女性差別



現地の人々の暮らし③ その他

- ・ 彼らは間違いなく辺境に住んでいるが、その暮らしは意外にも自給自足ではない。
 - WFP(国際連合世界食糧計画)からも飢餓地域に指定。
 - 実際は政府から支給される米(海外からの援助によるもの)により生活をしている。
- ・ 生活インフラはほとんど整備されていないが、携帯電話の普及率が高い(携帯電話の充電はソーラーパネルで行っていた)。
- ・ 普段は狩猟・農耕・牧畜・養蜂・宿泊業を生業としている。

海外遠征を振り返って

結果は思ったとおりではなかった

(当初) ラマ峰の許可取得、ラマ峰の登頂を目標としていた



(結果) 許可取得は叶わず、登頂ができなかった

しかし得たものは大きい

- ・ ラマ峰の十分な偵察
- ・ ヒマラヤの壁の登攀
- ・ 登攀力・体力・技術
- ・ 許可取得への働きかけ
- ・ 高所での経験
- ・ ヒマラヤ登山の経験
- ・ 日本での登山の経験 など

次のチャンスなら行ける！

これだけではない

登山の奥深さを知ることができた

登山の歴史や多くの人たちの考え方を
知ることができた。
学生時代の部活動に留まらない、
人生をかけて取り組む価値があるものだ
と分かった。
注意)命をかけるという意味ではない。

よい仲間ができた

隊員や指導してくれた先輩たち、山で出
会った友人たち。



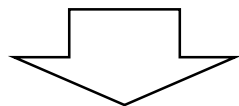
▲Schwarze Wand Spitzel峰の頂上にて

『ここからが始まりだ』
と思えるようになった

これからの活動

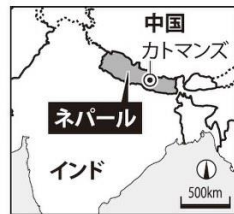
ラマ峰へのリベンジは...？

現状、政府は選挙関係の業務で非常に忙しく、7000mにも満たない山にかまっている暇はない。



結局、いつ許可が下りるかは全くわからない
(2,3年以内に下りることはまずないとのこと)。

気長に待つしかない...が、いつの日かラマ峰の
頂上に同志社大学の旗を掲げる！



【ニューデリー金亨
淳】中国とインドに挟
まれた内陸国ネパール
で26日、2015年の
新憲法施行後初となる
下院選（定数275議
席）の第1回投票が行
われた。親印の与党・
ネパール会議派を中心
とする「民主同盟」と
中国寄りとされる野党
連合「左派同盟」が争う
構図で、外交方針を占
う選挙となりそうだ。
26日は北部32地区で
投票を実施。12月7日
に首都カトマンズなど
残る45地区で行われ、
12月中旬ごろに小選挙
区（165議席）と比
例代表（110議席）
の結果が発表される。
地元メディアなどに
よると、ネパールは今
年5月、中国が提唱す
るシルクロード経済圏

ネパール親印か親中か

新憲法下初の下院選

▲2017年11月27日付の
毎日新聞東京朝刊

ご清聴ありがとうございました。



西ネパール地域の登山と山旅、人々の暮らし
～同志社大学山岳部極西ネパール登山隊2017の記録から～

雲南懇話会
2018年9月29日

同志社大学山岳部極西ネパール登山隊2017